

『東アジア近代史』第18号 2015年3月

《特集》第一次世界大戦と東アジア世界の変容—第一次世界大戦勃発—〇〇年にあたって

—

大会特集の趣旨と概要（斎藤 聖二）

対中依存を深めるドイツの東アジア政策—第一次世界大戦初期の「青島」をめぐる折衝—
（小池 求）

対華二十一ヵ条要求と北京政府の対応—交渉開始前の動向—（川島 真）

第一次世界大戦の勃発と朝鮮独立運動 —対華二十一ヵ条要求をめぐる二つの戦略—（小野
容照）

コメント—日本外交の視点から（千葉 功）

コメント—大戦勃発直後のアメリカの東アジア認識（高原 秀介）

《独立論文》

寺内正毅内閣期の対中国財政援助政策—外務省と援段政策—（塚本 英樹）

「始政五年記念朝鮮物産共進会」と植民者社会—「武断政治」下における官民共同の催し—
（李 東 勲）

義和団時期における中国海関の常関税管轄について（金 賢 貞）

《インドシナ戦争史研究》

「インドシナ戦争史聞き取り会」報告（饗庭 孝典・岩壁 義光）

アメリカから見たベトナム戦争（北島 霞）

北京から見ていたベトナム戦争（中島 宏）

ベトナム戦争を振り返る（グレゴリー・クラーク）

《書評》

Rana Mitter ” China’ s War with Japan”（田 瑜）

青山治世著『近代中国の在外領事とアジア』（森 万佑子）

井上和枝著『植民地朝鮮の新女性—「民族的賢母良妻」と「自己」のはざままで—』（三ツ井
崇）

《新刊紹介》

Joshua A.Fogel, ” Maiden Voyage: The Senzaimaru and the Creation of modern
Sino-Japanese Relations,”（木村 風奈）

《活動報告》

《予告》二〇一五年度第二〇回東アジア近代史学会研究大会